

番号	3 - 18	申請者	つくし2病棟 看護師 伊東 綾
<p>【審査申請課題】</p> <p>重症心身障害者病棟に勤務する看護師の異食患者への看護ケアの実態調査</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>私の勤務する病棟は50～60歳代の重症心身障害者が入所している長期療養病棟である。入所者は脳性麻痺がほとんどを占めており、精神発達遅滞や摂食嚥下障害など様々な障害を持つ患者が多い。その中で異食患者は11名おり、精神慰安のためにタオルを渡している患者は6名いた。患者との関わりの中で精神慰安のために渡していたタオルを1人の患者が異食してしまった。異食患者の行動障害に対して看護ケアを振り返り立ち止まって考える機会となった。この事例を通して長期入所されている異食患者の行動障害に対しての看護ケアに疑問をもったりアセスメントが十分にできていなかったりすることが背景にあるのではないかと考えた。重症心身障害者病棟に勤務する看護師にみられる長期に行っている看護ケア行動の傾向や長期に変わらない看護ケアがあるのではないかと考えた。そこで、看護ケア行動の実態を明らかにしその傾向とその相違があるのか、さらには看護師の異食患者に対する看護ケア行動への意識向上に繋がりたいと思いこの研究に取り組んだ。</p>			
審査結果	承認 (令和3年5月14日)		